

2026年 3月期 決算補足説明資料

高千穂交易株式会社（証券コード：2676）

2026年5月12日

5月22日に開催する決算説明会の資料では、2027年3月期のセグメント別の詳細や中期経営計画のトピックスについてもご説明しますので、当日TDNETで開示する決算説明会資料もご覧ください。



1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 通期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

【参考資料】 中期経営計画 2025 – 2027

<https://corp.takachiho-kk.co.jp/Portals/0/images/ir/management/plan/plan2025-2027.pdf>

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 通期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

✓ 2026年3月期 <実績>

- ✓ ビジネスセキュリティの好調により、前期比増収、営業利益・経常利益は上場来最高を更新
 - **ビジネスセキュリティ**：データセンター向けが好調なビジネスソリューションやグローバルが牽引し増収増益、計画を超過
 - **エレクトロメカニクス**：エレクトロニクスの低調により売上高は微減、円安による仕入れコスト増加や成長投資による販管費増加による減益で計画未達
- ✓ 投資有価証券評価損の計上により、当期純利益は減益。配当金は配当性向100%の方針により前期比4円減配

✓ 2027年3月期 <計画>

- ✓ ビジネスセキュリティ、エレクトロメカニクスともに増収増益の計画
- ✓ 営業利益、当期純利益は上場来最高益を更新する計画
- ✓ 2027年3月期より累進配当の方針、1株当たり年間配当金は前期と同額の76円

	2025年3月期 実績	2026年3月期 3/19修正計画	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画
売上高	28,098	30,000	29,510	32,000
営業利益	2,079	2,200	2,098	2,350
経常利益	2,004	2,400	2,408	2,300
当期純利益	1,458	1,400	1,415	1,650
ROE	8.7%	-	8.2%	9.3%
1株当たり年間配当金	80.0	75.0	76.0	76.0

※ 2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期の年間配当金は分割考慮後の数値

©TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 通期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結業績ハイライト

[単位：百万円]



ビジネスセキュリティの好調で前期比増収、営業利益、経常利益は上場来最高を更新
投資有価証券評価損の計上等により、当期純利益は減益

	2025年3月期 実績	2026年3月期 期初計画	2026年3月期 3/19修正計画	2026年3月期 実績	前期比	3/19修正 計画比
売上高	28,098	30,000	30,000	29,510	+5.0%	▲1.6%
売上総利益	6,909	7,660	7,660	7,383	+6.9%	▲3.6%
売上総利益率(%)	24.6%	25.5%	25.5%	25.0%	+0.4pt	▲0.5pt
販管費	4,830	5,460	5,460	5,285	+9.4%	▲3.2%
営業利益	2,079	2,200	2,200	2,098	+0.9%	▲4.6%
営業利益率(%)	7.4%	7.3%	7.3%	7.1%	▲0.3pt	▲0.2pt
為替差益	—	—	—	116	—	—
為替差損	84	—	—	—	—	—
経常利益	2,004	2,100	2,400	2,408	+20.1%	+0.4%
経常利益率(%)	7.1%	7.0%	8.0%	8.2%	+1.1pt	+0.2pt
税引前利益	2,170	—	—	2,133	▲1.7%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,458	1,500	1,400	1,415	▲2.9%	+1.1%
ROE	8.7%	—	—	8.2%	▲0.5pt	—
EPS※	79.10円	80.44円	75.05円	75.88円	▲3.22円	+0.83円

※ 2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期のEPSは分割考慮後の数値

©TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

セグメント別業績

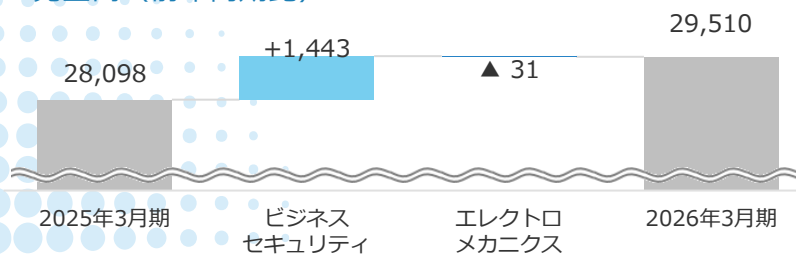
[単位：百万円]



ビジネスセキュリティは増収増益で営業利益率も9.3%に上昇
 エレクトロメカニクスはエレクトロニクスの低調により減収減益

		2025年3月期 実績*	2026年3月期 実績	増減額	増減率	2026年3月期 計画	増減額	増減率
ビジネスセキュリティ	売上高	13,708	15,152	+1,443	+10.5%	14,980	+172	+1.2%
	営業利益	1,153	1,402	+249	+21.6%	1,230	+172	+14.0%
	営業利益率(%)	8.4%	9.3%	+0.9pt	-	8.2%	+1.1pt	-
エレクトロメカニクス	売上高	14,389	14,358	▲31	▲0.2%	15,020	▲661	▲4.4%
	営業利益	926	695	▲230	▲24.9%	970	▲274	▲28.3%
	営業利益率(%)	6.4%	4.8%	▲1.6pt	-	6.5%	▲1.7pt	-
連結合計	売上高	28,098	29,510	+1,412	+5.0%	30,000	▲489	▲1.6%
	営業利益	2,079	2,098	+18	+0.9%	2,200	▲101	▲4.6%
	営業利益率(%)	7.4%	7.1%	▲0.3pt	-	7.3%	▲0.2pt	-

■ 売上高 (前年同期比)



■ 営業利益(前年同期比)



* 2025年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み (詳細はP.18参照)

セグメント別業績（ビジネスセキュリティ）

[単位：百万円]



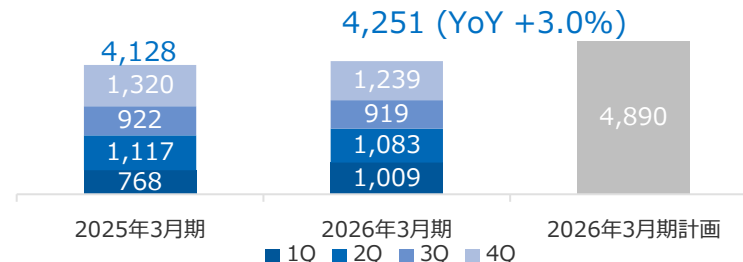
売上高 15,152 百万円 前年同期比 +1,443百万円

タイで展開する子会社が好調、また国内ではデータセンター向けやアパレル向けなどにセキュリティー商材の販売が好調

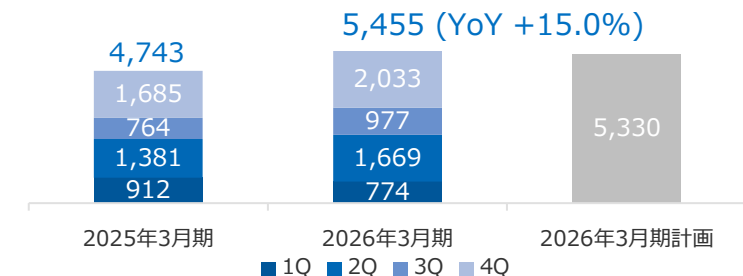
営業利益 1,402 百万円 前年同期比 +249百万円

利益率の高いビジネスソリューションの増収が寄与

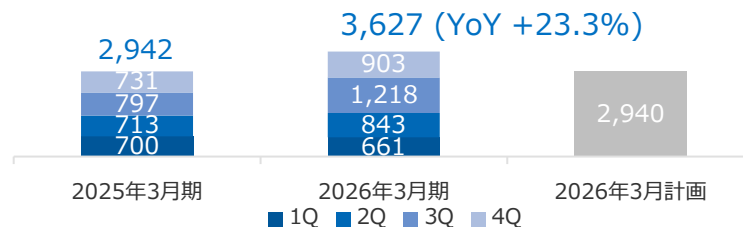
● リテールソリューション



● ビジネスソリューション



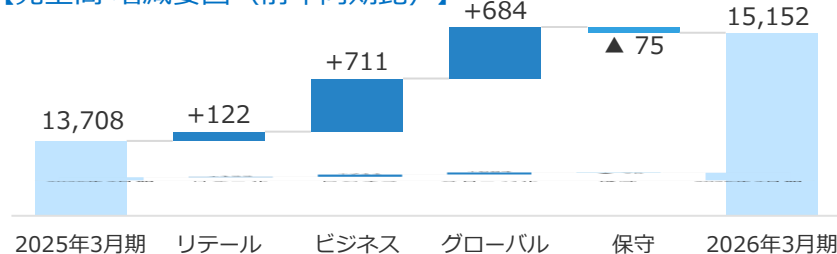
● グローバル



● 保守サービス



【売上高 増減要因（前年同期比）】*



● リテールソリューション

(+) アパレル向けにRFIDシステムや監視カメラシステムが好調

● ビジネスソリューション

(+) データセンター向け及びオフィス向けに入退室管理システム、監視カメラシステムが好調

● グローバル

(+) タイで防火システムの大型案件やオフィス向けセキュリティーシステムが好調、海外子会社の円換算収益増加

● 保守サービス

(△) 一部取扱い製品のメーカーサポート終了に伴う保守サービス終了の影響

* 2025年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細はP.18参照）

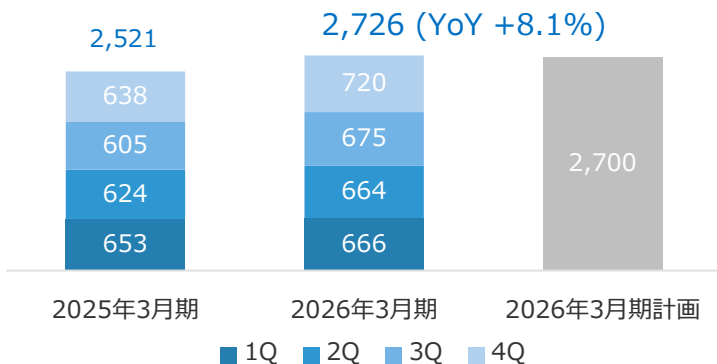
サブスクリプション型ビジネスの実績（ビジネスセキュリティ）



[単位：百万円]

サブスクリプション型ビジネスの売上高

サブスク売上高比率 **18.0%** ※



※ビジネスセキュリティセグメント売上高に占める構成比

● 保守

(△) 一部取扱い製品のメーカーサポート終了に伴う保守サービス終了

(+) 技術料金改定が奏功、新規保守契約の獲得

● マネージドサービス※「機器・クラウドサービス・運用管理」が一体となったMSPサービス

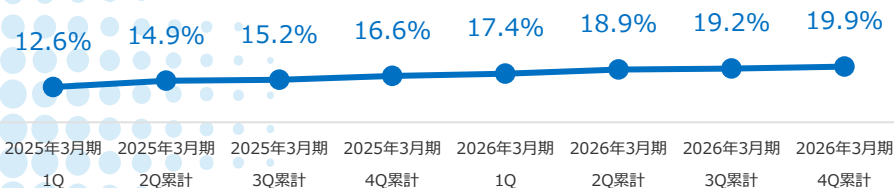
(+) 代理店販売が好調

● クラウドライセンス

(+) ライセンス数の積み上げ、Verkadaなど新製品の実績化

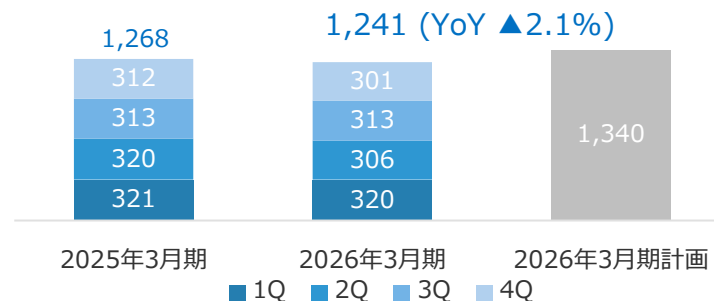
サブスクリプション型ビジネスの営業利益率 ※

比較的利益率の高いクラウドライセンス好調で上昇

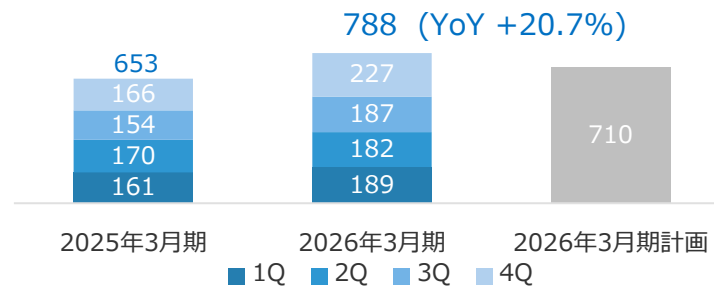


※ 26年3月期3Qの開示より四半期毎から累計に変更しております。

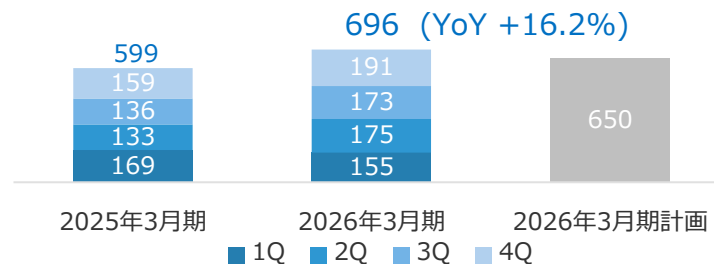
● 保守



● マネージドサービス



● クラウドライセンス



セグメント別業績（エレクトロメカニクス）

[単位：百万円]



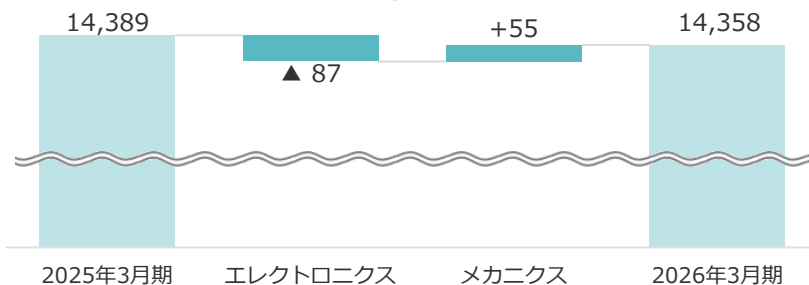
売上高 14,358 百万円 前年同期比 ▲31百万円

エレクトロニクスは民生機器向け好調、車載機器・モジュール向け等が低調で微減、メカニクスは住宅設備及びオフィス家具向け好調により微増

営業利益 695 百万円 前年同期比 ▲230百万円

円安による仕入コスト増加、営業要員増加等の成長投資による販管費増加により減少

【売上高 増減要因（前年同期比）】



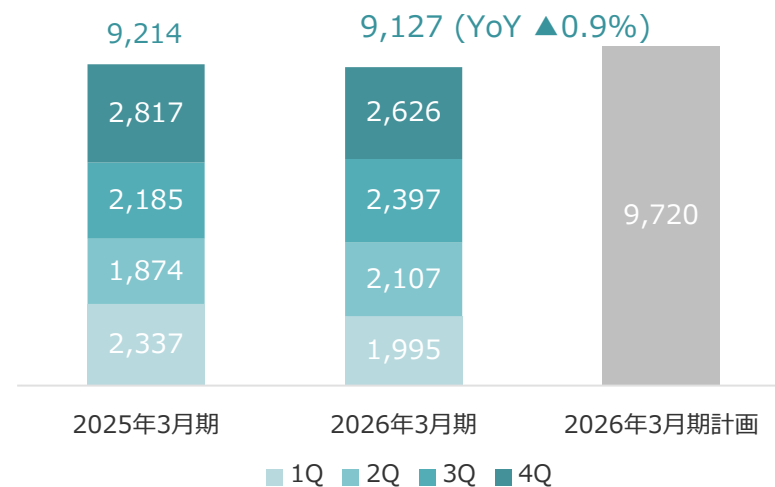
● エレクトロニクス

- (△) 車載機器・モジュール向け半導体
→車載機器は前期好調からの反動減、モジュール向けは下期より低調
- (+) 民生機器向け半導体
→大口顧客の製品が販売好調により納品拡大

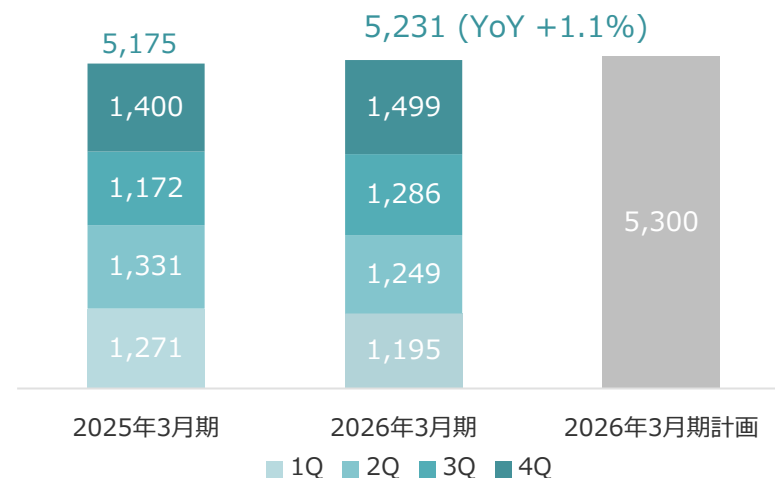
● メカニクス

- (+) 住宅設備・オフィス家具向け機構部品
→住宅設備はキッチン向けに企画開発品が好調
- (△) 発電設備・複合機向け機構部品
→前期好調からの反動減

● エレクトロニクス



● メカニクス



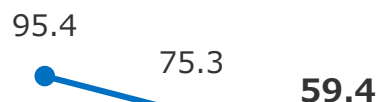
資本効率改善状況



在庫を適正水準まで抑えるべく、受注残の取り込み・発注コントロールを強化
債権・債務はキャッシュ・フロー改善に向けて取引条件の見直しを推進

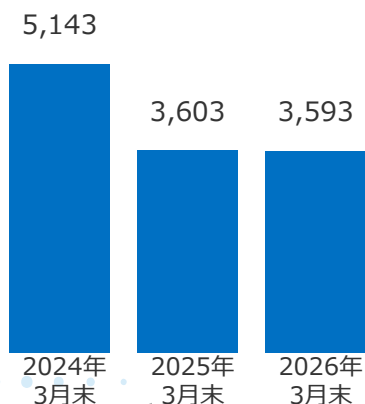
棚卸資産

回転日数



残高

[単位：百万円]



主にエレクトロニクスの
受注残納品により減少

売上債権

92.9 84.2 80.9

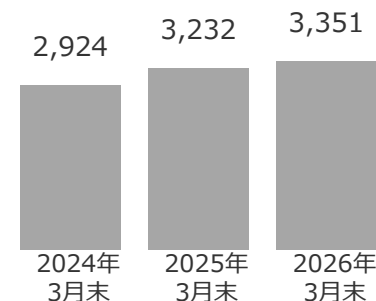


[計算式]

- 棚卸資産回転日数 = 棚卸資産 (期首・期末の平均残高) ÷ 売上原価 × 日数
- 売上債権回転日数 = 売上債権 (期首・期末の平均残高) ÷ 売上高 × 日数
※売上債権 = 売掛金 + 受取手形 + 契約資産 + 電子記録債権 ▲ 契約負債 (前受金)
- 仕入債務回転日数 = 仕入債務 (期首・期末の平均残高) ÷ 売上原価 × 日数
- 日数・・・3月末は365日で計算

仕入債務

57.0 53.0 54.3



1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 通期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結PL<計画>

[単位：百万円]



成長投資や企業認知度向上、製品プロモーション等の広告施策により販管費は増加するものの、
営業利益及び当期純利益は上場来最高増益を更新する計画

	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	増減額	前期比
売上高	29,510	32,000	+2,489	+8.4%
売上総利益	7,383	8,300	+916	+12.4%
売上総利益率(%)	25.0%	25.9%	-	+0.9pt
販管費	5,285	5,950	+664	+12.6%
営業利益	2,098	2,350	+251	+12.0%
営業利益率(%)	7.1%	7.3%	-	+0.2pt
経常利益	2,408	2,300	▲108	▲4.5%
経常利益率(%)	8.2%	7.2%	-	▲1.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,415	1,650	+234	+16.6%
ROE(%)	8.2%	9.3%	-	+1.1pt
EPS	75.88円	88.33円	+12.45円	-
1株当たり年間配当金	76.0円	76.0円	+0.0円	-

セグメント別 売上高・営業利益 <計画>

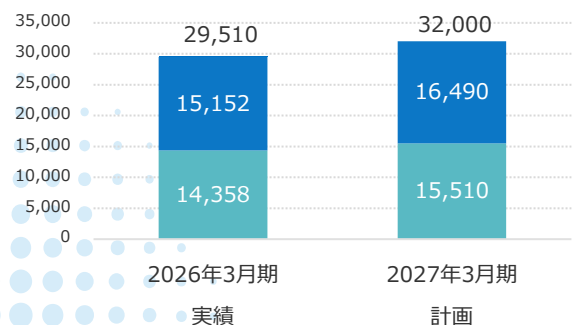
[単位：百万円]



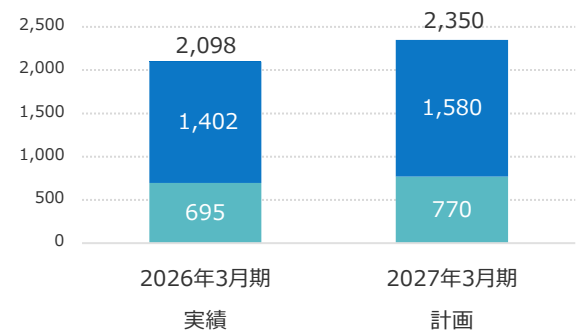
ビジネスセキュリティ、エレクトロメカニクスともに増収増益の計画

		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	増減額	増減率
ビジネスセキュリティ	売上高	15,152	16,490	+1,337	+8.8%
	営業利益	1,402	1,580	+177	+12.6%
	営業利益率	9.3%	9.6%	+0.3pt	—
エレクトロメカニクス	売上高	14,358	15,510	+1,151	+8.0%
	営業利益	695	770	+74	+10.7%
	営業利益率	4.8%	5.0%	+0.2pt	—
連結合計	売上高	29,510	32,000	+2,489	+8.4%
	営業利益	2,098	2,350	+251	+12.0%
	営業利益率	7.1%	7.3%	+0.2pt	—

■ セグメント別売上高



■ セグメント別営業利益



株主還元



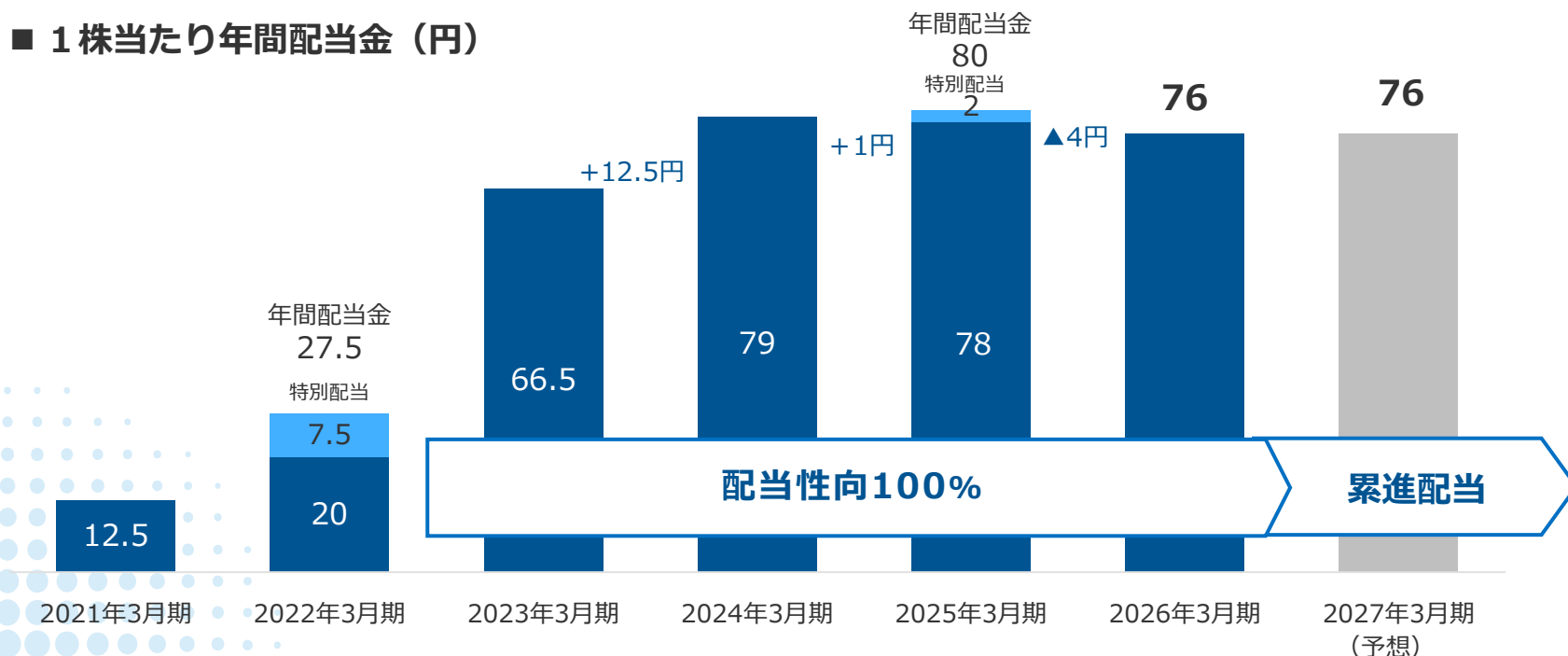
- 2026年3月期の年間配当金は減益により**前期比4円減配の76.0円**
- 2027年3月期の年間配当金は累進配当により**前期と同額の76.0円**の予想

中期経営計画 2025-2027 配当方針

資本政策の方針である「成長投資と株主還元の両立」に基づき、

- 財務健全性を確保しながら、積極的な投資による事業成長を目指す
- 2026年3月期は配当性向100%、2027年3月期以降は累進配当制を導入**

■ 1株当たり年間配当金（円）



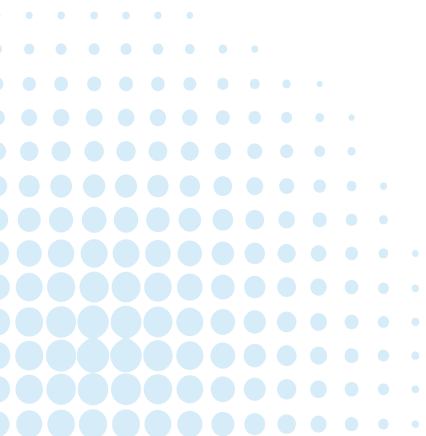
*2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期以前の配当金は分割考慮後の数値

2027年3月期通期見通しの詳細について



5月22日に開催する決算説明会の資料では、2027年3月期のセグメント別の詳細や中期経営計画のトピックスについてもご説明しますので、当日TDNETで開示する決算説明会資料もご覧ください。

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 通期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix



セグメント区分の見直し（2026年3月期1Q以降）

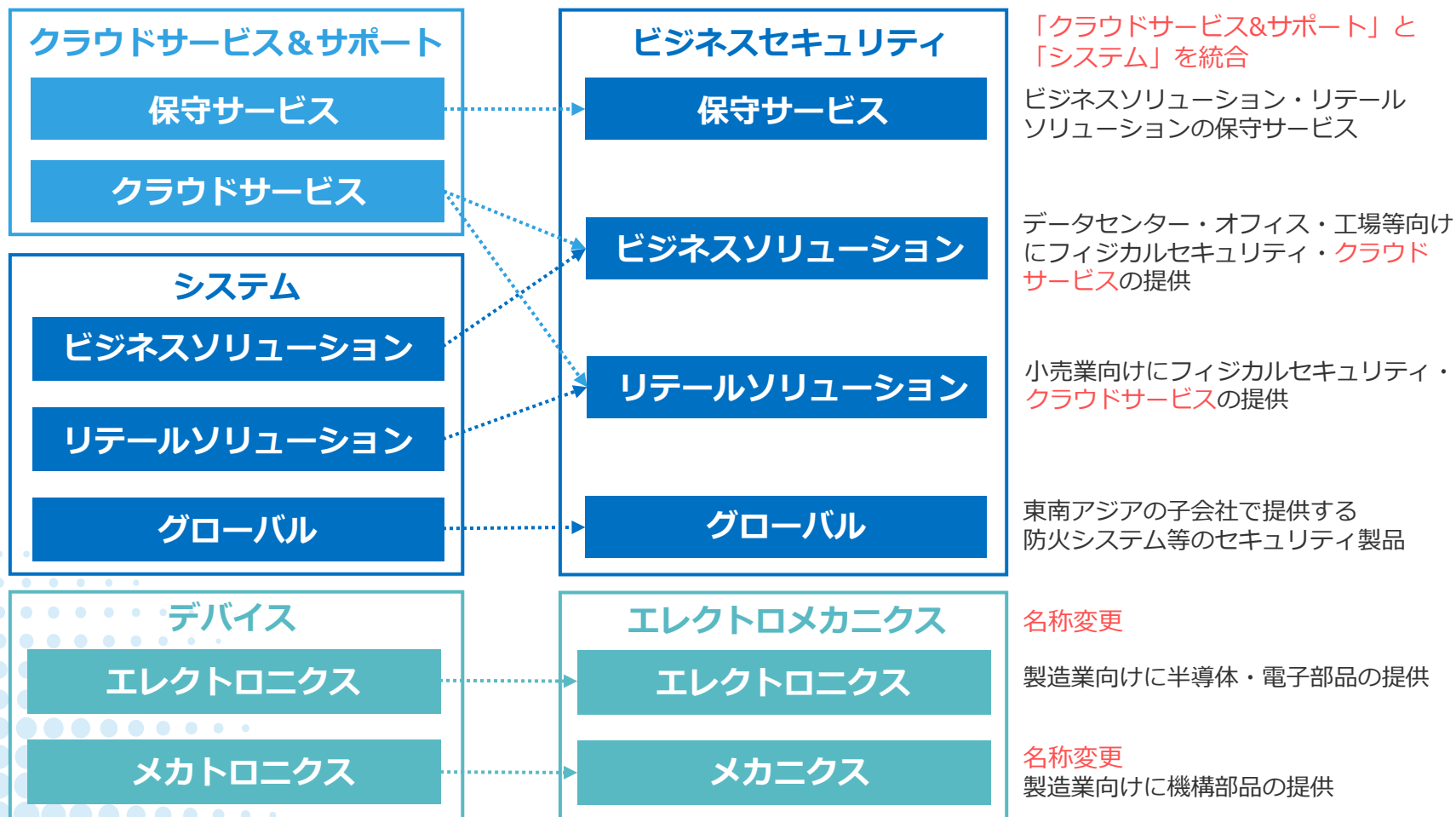


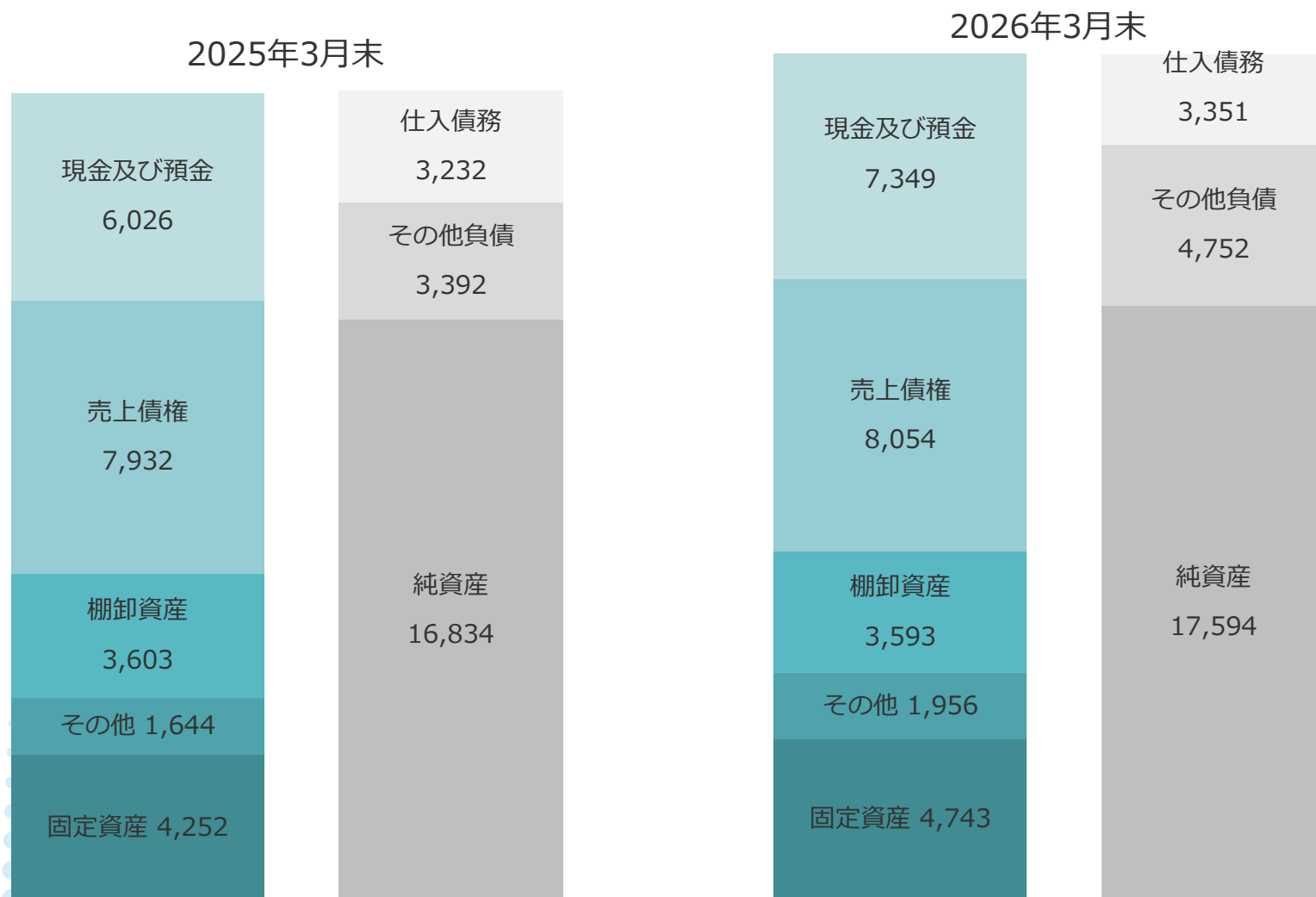
クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたため、
ターゲット市場の明確化を目的に、一部セグメントを統合・名称変更

(現セグメント)

(新セグメント)

(事業内容) ※変更箇所は赤字

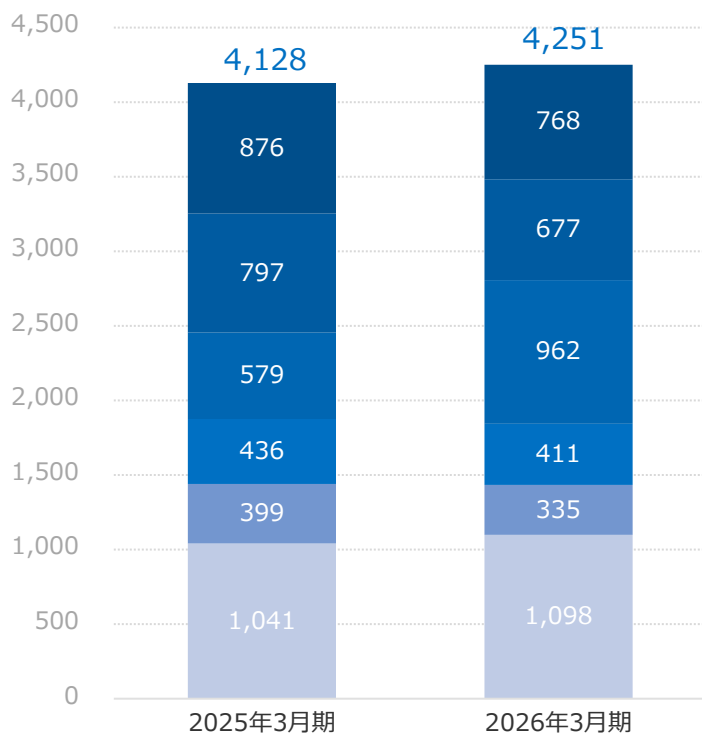




(増減要因) 純資産+759・・・配当支払▲1,600、当期純利益+1,415、
その他包括利益累計額+896、自己株式+47

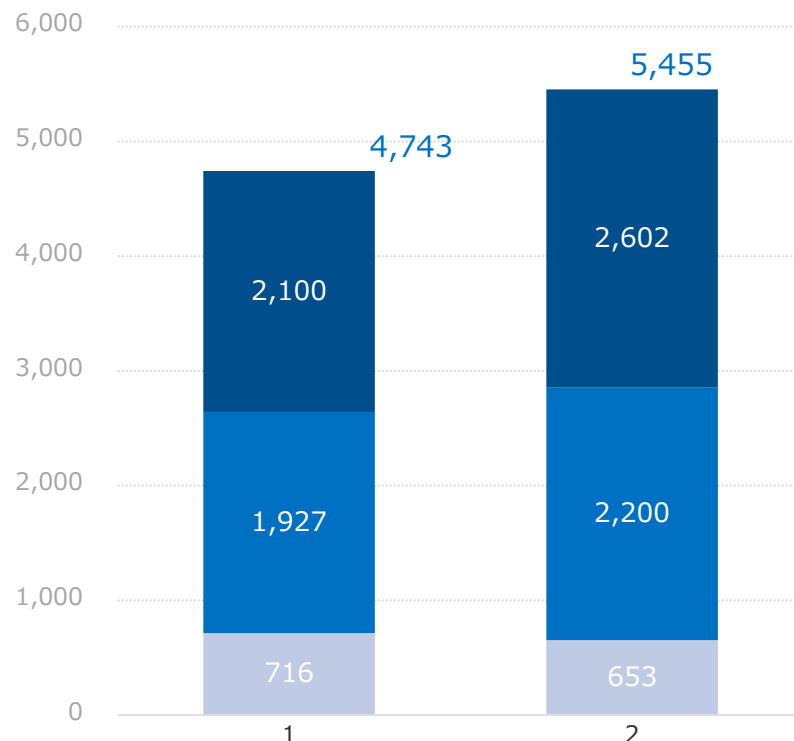


● リテールソリューション売上高*



■ GMS	876	768
■ ドラッグストア	797	677
■ アパレル	579	962
■ ホームセンター・スポーツ	436	411
■ 家電	399	335
■ その他	1,041	1,098

● ビジネスソリューション売上高*



■ 系列3	2,100	2,602
■ 系列2	1,927	2,200
■ 系列1	716	653
■ *1	716	653

*1メーリングシステム：封入封緘機（書類を封筒の中に入れ、封書ののり付けまでの一連作業を自動化する機械）

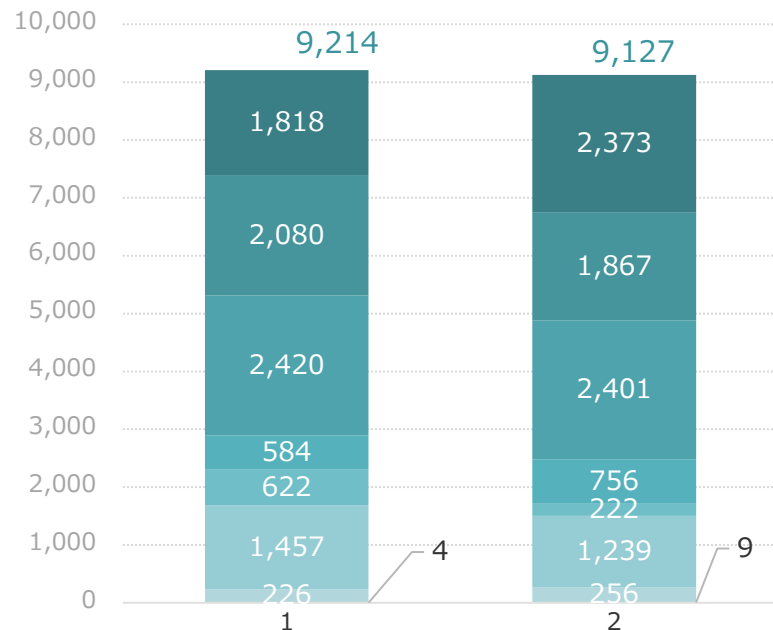
* 2025年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細はP.18参照）

売上高内訳（デバイス）

[単位：百万円]



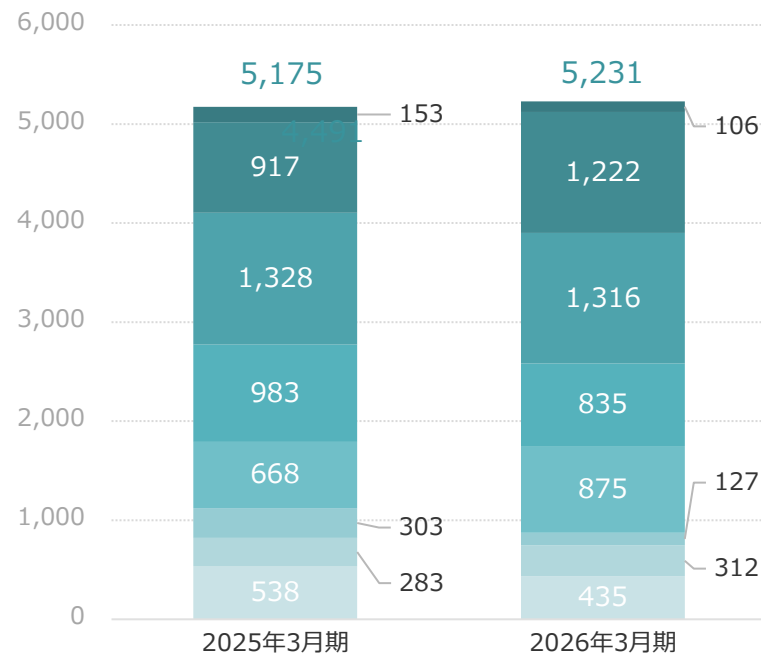
● エレクトロニクス売上高



■ 系列8	1,818	2,373
■ 系列7	2,080	1,867
■ 系列6	2,420	2,401
■ 系列5	584	756
■ 系列4 *1	622	222
■ 系列3	1,457	1,239
■ 系列2	226	256
■ 系列1	4	9

*1オート・ビークル：車載機器、鉄道機器、船舶、輸送機器

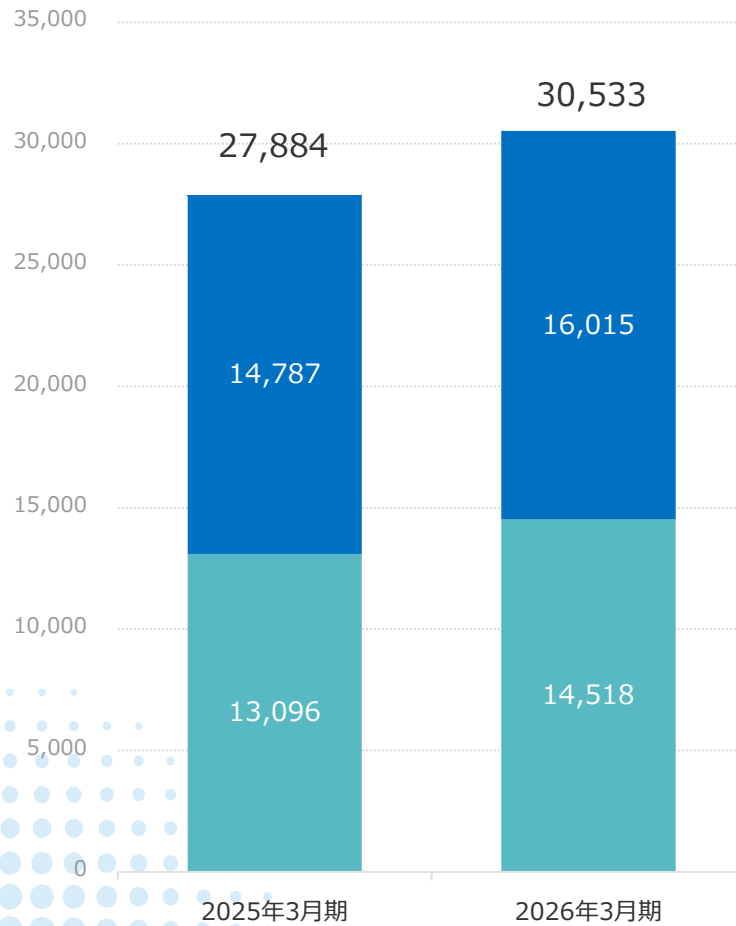
● メカニクス売上高



■ 産業機器	153	106
■ ビルック *2	917	1,222
■ 金銭機器	1,328	1,316
■ OA機器	983	835
■ オフィス	668	875
■ 環境・エネルギー *2	303	127
■ アミューズメント	283	312
■ その他	538	435

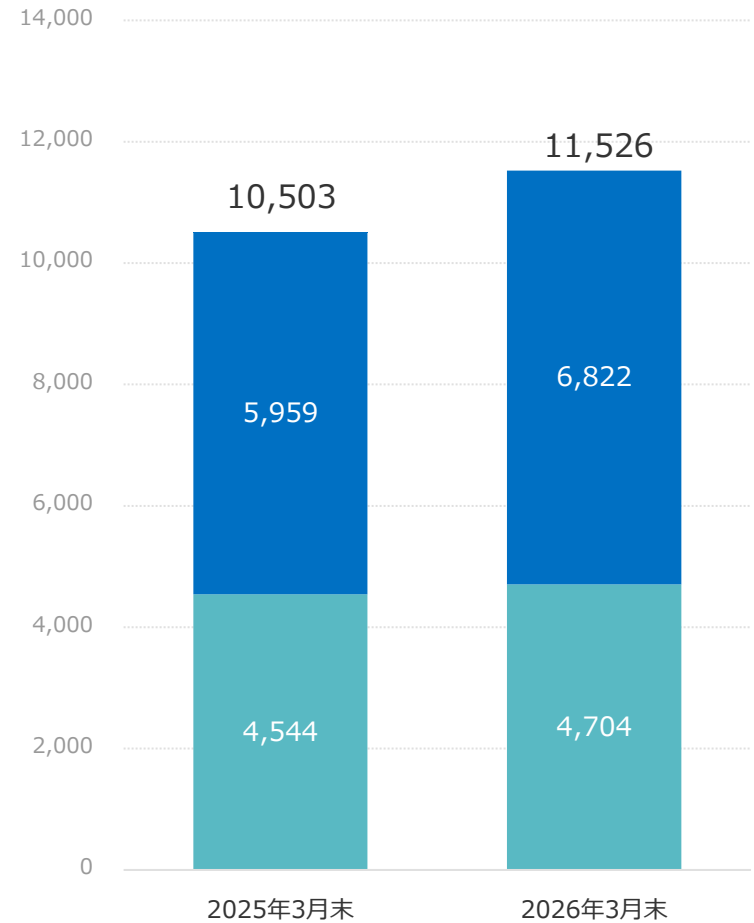
*2ビルック：住宅設備、自動車内装向け／環境・エネルギー：蓄電・太陽光発電向け

● 受注高



■ ビジネスセキュリティ ■ エレクトロメカニクス

● 受注残

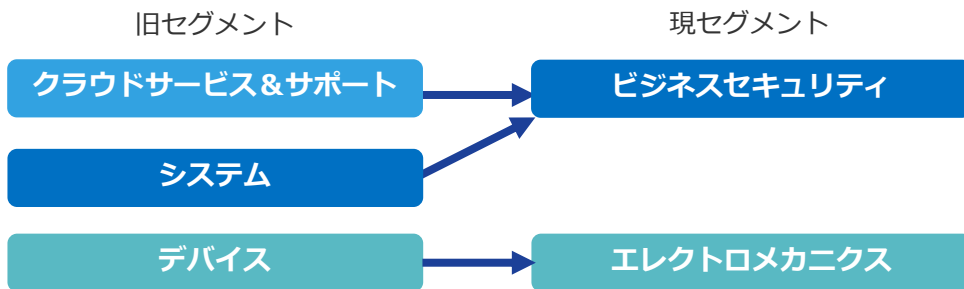


■ ビジネスセキュリティ ■ エレクトロメカニクス

セグメントと主なプロダクト・サービス (2026年3月期 1Q~)

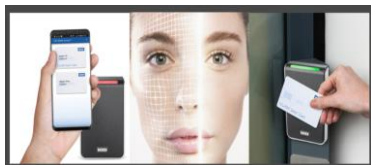


■ セグメントの体系



クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたため、ターゲット市場の明確化を目的としてセグメントを統合し、名称を変更

ビジネスセキュリティ



入退室管理システム



顔認証システム



クラウド型無線LAN

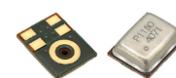
リテール	<ul style="list-style-type: none"> 商品監視(万引き防止)システム 監視カメラシステム、顔認証システム クラウドサービス RFIDシステム
ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム、監視カメラシステム メーリングシステム クラウドサービス ネットワーク製品

グローバル	<ul style="list-style-type: none"> 防火システム
保守	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスセキュリティセグメントが提供する商品の保守サービス

エレクトロメカニクス



電源モジュール



シリコンマイク

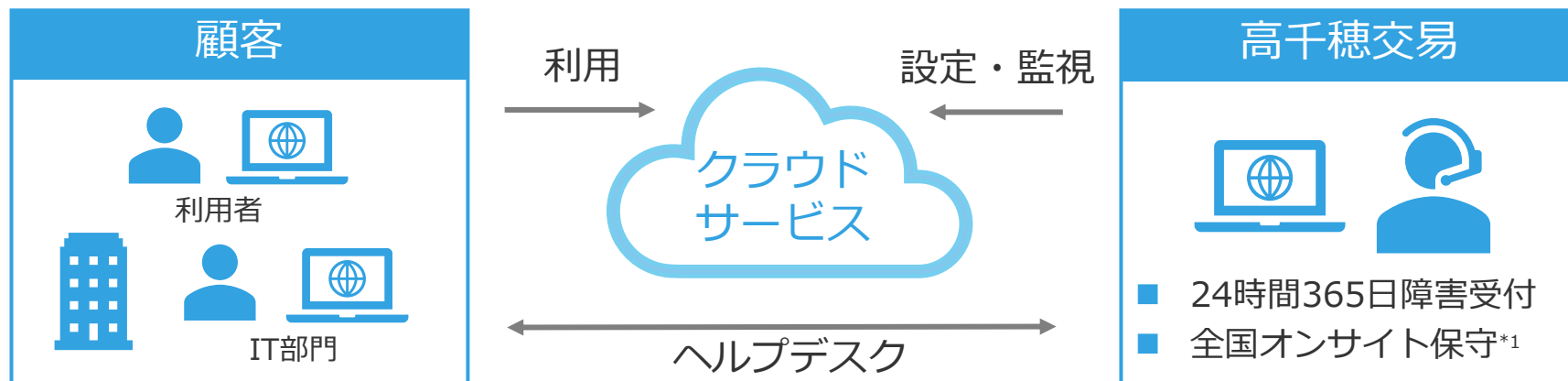


ソフトクローズ

エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> 半導体・IC / 電子部品・センサ 各種モジュール
メカニクス	<ul style="list-style-type: none"> スライドレール / ガススプリング ソフトクローズユニット / 電子錠

MSP（Managed Service Provider）サービスとは

クラウドネットワーク製品の保守運用・稼働監視業務をアウトソーシングできるサービス



主なMSPサービス対象製品

CISCO
Meraki



クラウド型無線LANシステム

『クラウド型無線LANシステム』とは？

無線LANアクセスポイントを
クラウド上で管理

- ✓ クラウド上で利用状況を可視化
- ✓ 導入や故障時の対応が簡単・早い
- ✓ 設定・監視のアウトソーシングが可能

MSPサービス料金形態

(1) ~ (3) を一体型のサービスとして月額払いで提供*2

- (1) 機器代
- (2) クラウドサービスライセンス料
- (3) 保守料

*1 一部エリアを除く

*2 ① 機器代のみ一括払い可能

中長期の成長イメージ

中期経営計画の詳細は[こちら](#)をご参照ください



■ **パーパス** 技術の力と、人へのやさしさで、空間に「**新しい必要**」をつくる。

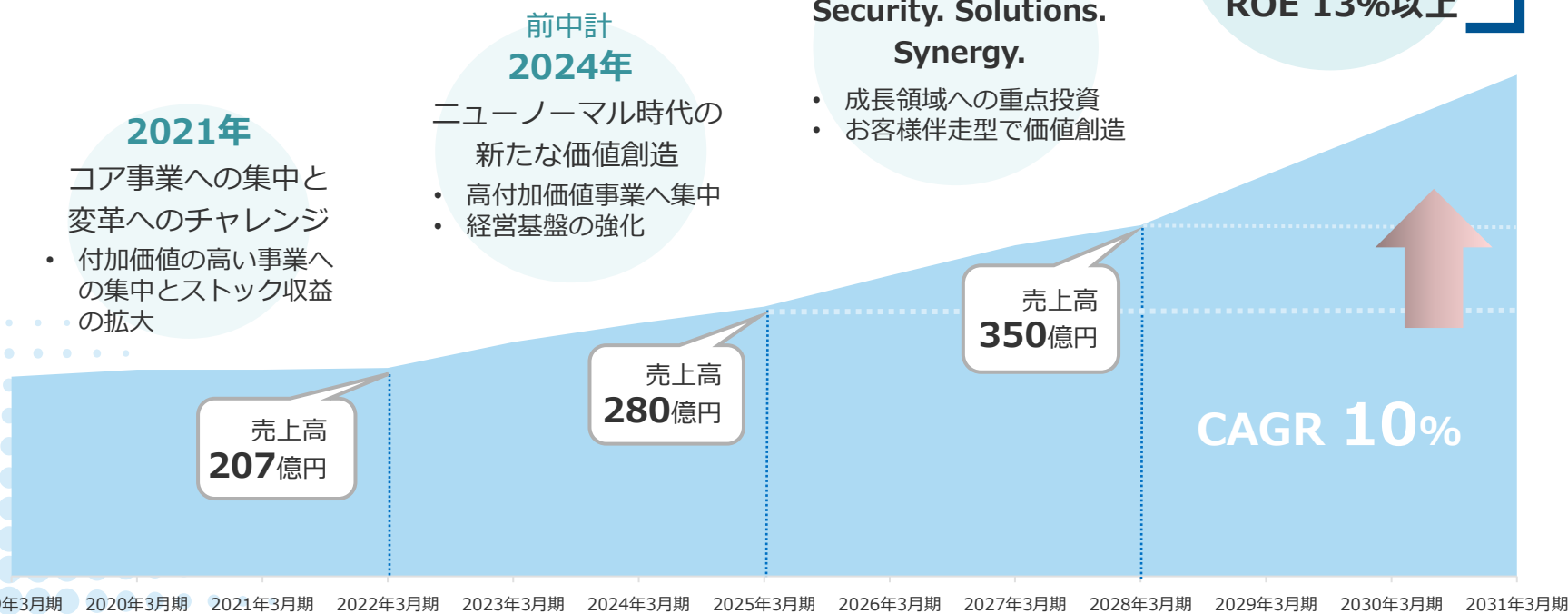
■ **企業理念**

技術商社として「**創造**」を事業活動の原点に据えテクノロジーをとおして、お客様の満足を高めます技能と人間性を磨き、世界に通用する信用を築きます力を合わせて、豊かな未来を拓き、社会に貢献します

<2030年の高千穂交易の目指す姿>

安心・安全な社会の実現

1st choiceされるソリューションプロバイダーになって、お客様と共に未来を描く



2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期 2027年3月期 2028年3月期 2029年3月期 2030年3月期 2031年3月期

<中期スローガン> **Security. Solutions. Synergy.**

～ ビジネスセキュリティ × エレクトロメカニクスで、進化の最先端へ～

基本方針：『注力事業への重点投資による事業成長』 『お客様伴走型で共に新しい未来と価値を**創造**』

<KPI> 2028年3月期 営業利益 3,000百万円、当期純利益 2,000百万円、ROE 10%以上

事業戦略

「1st Choiceされるソリューションプロバイダー」を目指す

- **基本戦略①：ロイヤルカスタマー戦略の進化**
社内横串連携強化で、組織を超えたマルチプロダクト・サービス提供
- **基本戦略②：サービスビジネスの成長**
お客様伴走型で新ソリューションを創造し、付加価値向上
- **基本戦略③：新規事業・グローバル事業の強化**
- **基本戦略④：成長投資60億円の実行**

資本戦略

成長投資と株主還元の両立

- 1年目は**配当性向100%**、
2年目以降は**累進配当制採用**による安定的な株主還元
- ROIC経営の推進で**CCC改善**ならびに**資本収益性の向上**

サステナブル経営

E：環境対応

- 事業を通じた環境問題への対応
- 気候変動への対応

S：社会

- 人的資本経営の推進
- 安心安全な社会実現への取り組み

G：ガバナンス

- 監査等委員会設置会社への移行
- 内部監査室およびグループ事業推進室新設
- 女性取締役の就任

会社名	高千穂交易株式会社
証券コード	東証プライム 2676
設立	1952年3月13日
本社所在地	東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F
代表者	代表取締役社長執行役員 井出 尊信
従業員数	連結532名、単体319名（2026年3月31日時点）※臨時従業員を含む
連結子会社	国内1社、海外8社（上海・香港・バンコク・シンガポール・シカゴ）



本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先

高千穂交易株式会社 経営企画室 IR担当

 ir@takachiho-kk.co.jp

 03-3355-1201

IR News Mail



note